

防災の意識を共有

震災の記憶を紡ぐ語り部活動

7月8日、2年次の「防災と心のケア」受講生5人が野島断層保存館で語り部活動を行った。

生徒たちはこれまで授業で阪神淡路大震災について学習し、当時の様子も地域の方々から聞くなどしてきた。

その一環として実施したもので、断層展示ゾーンの3か所に分かれて、来館者に授業等で学習した内容を説明したり、1995年の阪神淡路大震災以後に生まれた自分たちの思いや感想を話したりした。

生徒たちからは「緊張したが、熱心に聞いてくださり、うれしかった。」と感想が聞かれた。

当時の断層を 140 メートル
にわたって保存しています



断層の深さは 10 キロ
メートル以上あります

